

化粧室の排水系統および救急用具の一部部品に 関わる点検・交換期限の超過について

スカイネットアジア航空株式会社(本社:宮崎県宮崎市 代表取締役社長:伊東 正孝)は、当社が運航しているボーイング B737-400 型機(10 機)のうち、6 機が耐空性改善通報(TCD)に基づく化粧室の排水系統に関わる部品の交換について、1 機が整備規程付属書に基づく救急用具の一部部品の点検について、それぞれ定められた期限を超えたまま運航していたことが判明し、本日、国土交通省より嚴重注意を受けましたので、ご報告申し上げます。

本件は、2010 年 10 月 15 日(金)、1 機(JA391K)において、救急用具として機体に装備されている「防水携帯灯」及び「非常信号灯」の搭載点検の期限が超過していること、また、2010 年 10 月 18 日(月)には、別の 6 機(JA737A、JA737B、JA737E、JA737F、JA737V、JA737W)において、化粧室の排水系統からの水漏れを防止するための部品の交換期限が超過していることが、それぞれ当社担当者による交換時期および整備作業管理システム内のデータの点検時に判明しました。

両事案とも超過が判明した時点で直ちに当該機の運航を停止し、点検及び交換作業を実施・完了させ、安全上問題のないことを確認しております。

安全は経営方針の最重要課題であり航空輸送の原点であることを改めて肝に銘じ、再発防止と信頼回復に努めてまいります所存です。

皆様には多大なるご心配とご迷惑をおかけしましたことを深くお詫びいたします。

以 上